

2003年6月12日
株式会社エヌジェーケー

NJKが「InfoNature/S for imageRUNNER」を新発売 ～キヤノンのデジタル複合機(MFP)対応の全く新しいコンセプトの文書検索ツール～

株式会社エヌジェーケー(東証第2部 本社:東京都目黒区中目黒4-8-2 代表取締役社長:谷村 直志、以下 NJK)は、コピー、スキャナー、ファクスなどの各機能を1つにまとめたキヤノンのデジタル複合機「imageRUNNER」と連携してオフィス文書を電子化し、その文書を全く新しい検索方法で取り出し活用できるツール「InfoNature/S for imageRUNNER(インフォネーチャー/サーチ フォー イメージランナー)」を6月18日より販売開始致します。

「InfoNature/S for imageRUNNER」は、「imageRUNNER」でスキャンした文書や受信したFAX文書を全文検索可能なPDFファイルとして保存し、“検索キーワードのボタン”を選択するだけの操作で、全文検索・ファイル名検索・プロパティ検索が行えます。文字列や自然文をその都度キーボードから入力して行う従来の検索ツールと比べて、数倍から数十倍の効率で文書情報を取り出して活用できます。

近年、文書の共有・活用による業務の効率化を目的として、電子化のニーズは非常に高まっています。こうしたニーズを反映して、多くの文書管理ツールが発売されていますが、それらのツールは複数のキーワードをその都度手入力しなければ検索できないため、文書を取り出すまでに非常に時間がかかります。また、専用ファイル形式への変換や文書データベースの構築、共有ルールの策定が必要であり、導入に至るまでに多くの時間とコストが発生します。

「InfoNature/S for imageRUNNER」は、従来のツールの検索方法と違い、「imageRUNNER」で受信したFAXの“送信者名”、“会社名”や“組織名”から作成される“検索キーワードのボタン”をマウスクリックしていただくだけで、検索することができます。このほかに“検索キーワードのボタン”は、例えば、既存の基幹システムから抽出したデータの“顧客名”、“社員名”、“商品名”から自動的に作成することもできます。プロパティ検索で使う“日付”や“拡張子”のボタンはテンプレートとして用意されています。

また、「InfoNature/S for imageRUNNER」の導入には、文書データベースの構築や、共有サーバー上のファイルの置き場所の整理など面倒な環境設定を行う必要はなく、「imageRUNNER」で取り込んだ文書を任意の共有サーバーに自動保存するように設定するだけですぐに利用できる環境を提供できます。

さらに、Excel や Word 等で作成してある既存の文書も、専用のファイル形式に変換することなく、全文検索・ファイル名検索・プロパティ検索が行えます。

このように、「InfoNature/S for imageRUNNER」と「imageRUNNER」を利用することで、手軽に文書の電子化と共有化を行い、企業の情報活用を推進し、より一層の業務の効率化を促します。

今回の発売について以下の賛同文を頂戴しております。

キヤノン販売株式会社 ビジネスプロダクト企画本部
本部長 野沢 佳津夫（ノザワ カツオ） 様

BUI による操作性の良さとシステム導入の容易さに優れた「InfoNature/S for imageRUNNER」は、今までに無い FAX 文書の電子化および検索も実現し、サーチャブル PDF 生成による全文検索も可能にしており、キヤノン MFP「imageRUNNER」シリーズの持つ機能を最大限に活かします。「InfoNature/S for imageRUNNER」と「imageRUNNER」の相乗効果により、日本のオフィス文書の電子化と共有化の第一歩として最適なソリューションを提供します。

以上

【本件に関する報道機関からのお問合せ先】

株式会社エヌジェーケー

ニュースリリース

経営企画部 遊佐 英彦（ゆさ ひでひこ）

TEL：03-5722-5700

E-MAIL：yusa-hd@njc.co.jp

製品

ソフトウェアパッケージ事業部マーケティング部

斎喜 峰隆（さいき みねたか）

TEL：03-5722-5766

E-MAIL：saiki-mn@njc.co.jp

Web サイト：http://www.njc.co.jp/datanature/

*本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

参考資料

InfoNature/S for imageRUNNER 標準価格

基本 10 クライアントセット：330,000 円

追加 10 クライアント毎：150,000 円

InfoNature/S for imageRUNNER 動作環境

基本ソフトウェア：Windows98SE / ME / NT4.0 / 2000 / XP

本体 (CPU)：上記基本ソフトウェアおよび Microsoft インデックスサービスが支障なく動作する環境

推奨メモリ：128MB 以上

ディスプレイ：256 色以上、解像度 1,024 × 768 ドット以上

全文検索対応ファイル：PDF、Microsoft Office 文書、一太郎、HTML
Text ファイル

imageRUNNER 対応機種：iR3200 シリーズ、iR3300 シリーズ、
その他 image WARE Gateway2002 for SDK 対応機種

InfoNature/S for imageRUNNER 販売目標

平成 15 年度：200 セット

平成 16 年度：800 セット

InfoNature/S とは

「InfoNature/S」は、NJK が保有する特許技術 BUI を実用化した「DataNature」に次ぐ Nature シリーズの第 2 弾製品として 2002 年 11 月に発売開始した全く新しいコンセプトの文書検索ツールです。

従来の文書検索ツールは、文字列や自然文をその都度キーボードから入力して検索を行います。しかし、「InfoNature/S」は、既存の基幹システムに存在する“顧客名”、“社員名”、“商品名”といったキーワードや、文書ファイルのプロパティ情報である“日付”や“作成者”といったキーワードを自動的にボタン化し、そのボタンを選択するだけで、目的の文書ファイルの検索が可能です。ファイルの種類、置き場所、分類方法、階層管理を意識する必要もなく、従来の検索システムの数倍から数十倍の効率で文書情報を活用できます。

キーワードからボタンを自動生成することによって検索ノウハウを共有化できるので、従来の文書検索方式の、個人により検索結果のバラツキが大きい、文書情報に対する検索ノウハウの蓄積と共有が難しく組織的な相乗効果に至らない、全体の様子や関連の状況がつかめず部分しか見えない、といった問題点を一挙に解決し、業務に精通した人はもちろん、管理者や関連する業務についている人を含めて、情報を必要としている誰もが簡単に目的の文書を取り出せるツールとして、企業の情報活用を強力に推進します。

BUI とは

BUI (ボタン・ユーザー・インターフェース) とは、プログラムレスで情報活用を簡単に実現するための技術であり、Nature シリーズ商品のコアとなるソフトウェアテクノロジーです。